岩盤ボーリング柱状図

調査名　鹿谷地区　急傾斜地崩壊対策事業に伴う測量設計調査業務委託（交付金）

事業・工事名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	BorNo.5	調査位置	広島県三次市吉舎町清綱	北緯	34° 42′ 38.9542″
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	令和3年12月17日～ 令和3年12月22日	東経	132° 59′ 35.5088″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	226.56m	角度	180° 上 90 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	11.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	

試錐機	東邦地下工機D-1型				
エンジン	ヤンマーディゼルNFD-12K	ポンプ	東邦地下工機BG-3C		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
1				粘土混り砂礫	茶褐灰								・上部に植物根を含む ・全体的に粘土分を多く含む ・φ2～50mm程度の硬質な亜角礫を含む ・礫が不規則に分布する ・GL-3.50～3.60m間は安山岩礫である		12/17 12/18	80	86／ケーシング	／MC	60	80	0	W30	0
2																							
3																							
4	221.66	4.90																					
5				風化安山岩		w4	h2	D	Ⅳ	c	D	2[0](100) 3[0](100) 2[0](100)	・全体的に風化が進行している ・岩片はハンマーで叩くとボロボロに砕ける ・岩片状コアとして採取される ・斜め亀裂が発達している	12/22 5.90	12/20	120		／DI	120	150	1	W35	5
6																							
7																							
8	218.56	8.00		安山岩	暗青灰	w2	h1	B	Ⅲ	b	CL	21[32](100) 22[43](100) 90[90](100)	・岩片は新鮮、硬質である ・短柱状～棒状コアとして採取される ・岩片はハンマーで叩くと金属音を発する ・局所的に斜め亀裂が認められる		12/21 12/22	150	66	／DI	150	180	1	W310	10
9																							
10																							
11	215.56	11.00																					
12																							
13																							
14																							
15																							
16																							

標準貫入試験

深度－N値図

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
3	1.00	3		
	1.31	310		
4	2.00	4		
	2.32	320		
19	3.00	19		
	3.30	300		
8	4.00	8		
	4.30	300		
18	5.00	18		
	5.31	310		
44	6.00	44		
	6.30	300		
39	7.00	39		
	7.30	300		
50以上	8.00	50	180	
	8.18	180		
50以上	9.00	50	30	
	9.03	30		

原位置試験

室内試験